

ハイパーテック

ダブルサイズ構造のPC104Dボード

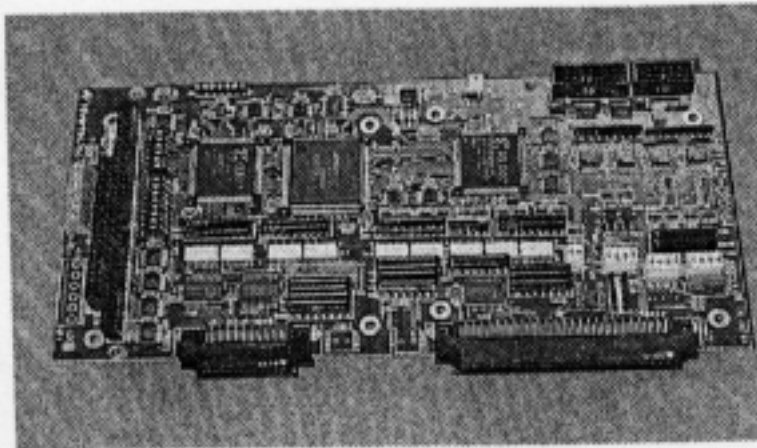
# 4軸モーター制御とDI O16/16ボードで構成



社長 齋藤 高藤

ハイパーテック（東京都江東区新大橋、齋藤代表取締役）は、パソコンによる制御用組み込み規格、PC/104の課題を解消するダブルサイズ構造の「PC104D」ボードを業界で初めて開発し、このほど販売開始した。

新製品は、PC104の二



倍余のサイズ。CPUボードとしてPC/104および三・五芯CPUボードが上部に

スタックされ、コネクタのアクセス面は、筐体面としてパネルを付けることができ、デスクトップや棚などに組み込み収納がまとまる構造。これにより、配線がまとまりにくい、コネクタアクセス面が守られていない、スタック数が少ない、などというPC/104の構造上の不満を解消する。

「通常のPC/104がスタックでき、ボードの選択枝

ハイパーテックのダブルサ

イズ構造の「PC104D」

ボード

が広くなり、スタックが二倍取れる効果がある。また、各種組み込みOSが使える、制御用の組み込み装置分野以外にも対象に、PC/104市場の拡大を促進できる」（齋藤代表取締役）。

PC104Dは、四軸モーター制御にDIO（デュアルI/O）16/16ボードで構成（標準価格六万七千円）。DIOボード、電源ボードとも、二種類が用意されている。

同社は、一九八三年に設立され、モーション・コントロールシステムや計測制御システム分野向けのボード、ソフトウェアの開発、製造を行っている。

顧客は約二百社にのぼり、九〇%を半導体製造装置関連メーカーで占める。